

日油グループにおける2023年度の事業活動にともなう環境負荷の状況は以下のとおりです。

主要な環境パフォーマンス 日油グループ



方針（基本的な考え方）

日油グループでは、資源循環の取り組みとして、以下を優先的に取り組んでいます。

- (1) 廃棄物の有価物販売と内部処理の推進: 廃棄物を有価物として販売し、内部での処理を積極的に推進しています。これにより、廃棄物の再利用や資源化を通じて、資源の効率的な利用を促進しています。
- (2) 分別廃棄の維持と工程改善による発生廃棄物

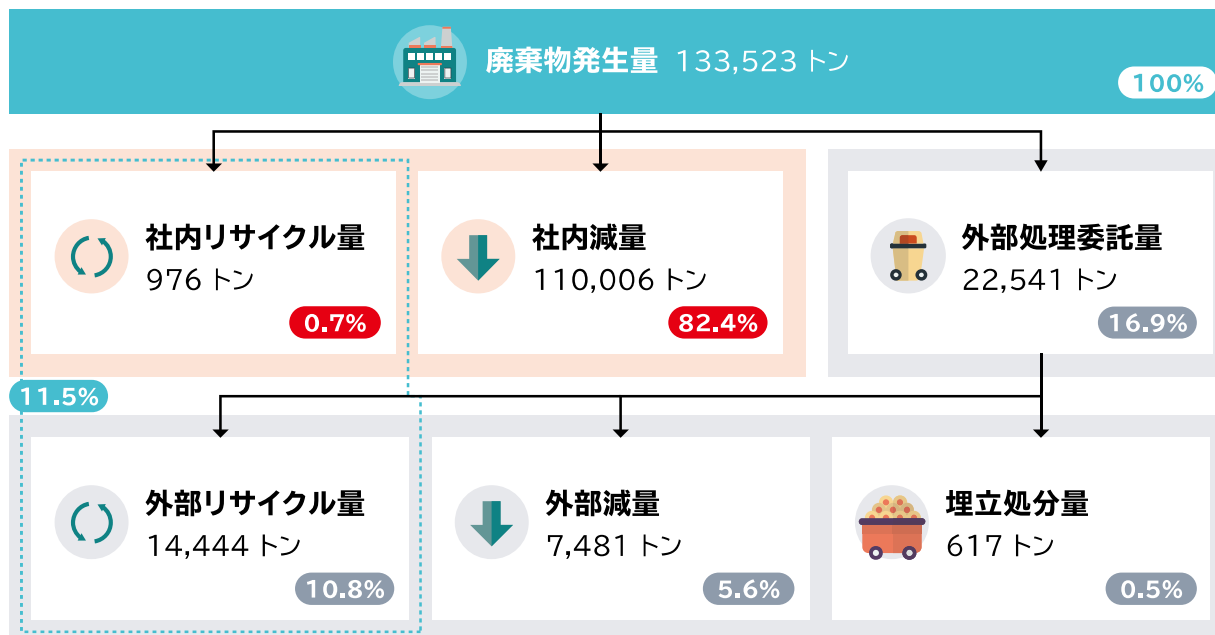
の削減: 廃棄物の分別を維持し、工程改善を行うことで、発生する廃棄物の量を削減しています。この取り組みにより、資源の無駄遣いを防ぎ、効率的な資源利用を実現しています。

- (3) リサイクル処理業者の継続的な探索と処理実施: リサイクル処理業者との継続的な連携を図り、廃棄物のリサイクル処理を積極的に実施しています。この取り組みにより、資源の再利用を推進し、資源の効率的な利用と廃棄物の削減

を実現しています。

- (4) 既存廃棄物のリサイクル化による埋立減: 既存の廃棄物をリサイクル化することで、埋立地への投棄を減らしています。この取り組みにより、資源の有効活用を図り、資源の削減と環境負荷の軽減に貢献しています。

日油グループにおける廃棄物発生量 日油グループ



省資源への取り組み

2023年度の日油グループの廃棄物発生量は、133,523トンとなり、このうち、社内での減量策により82.4%を削減し、16.9%を外部処理委託しています。外部処理委託量の内訳は、外部リサイクル量が10.8%、外部減量が5.6%、埋立処分量が0.5%となっており、廃棄物発生量に対するリサイクル率は、11.5%となりました。

資源循環の取り組みとして、工程改善による歩留まり向上と発生量の削減、廃棄物の有価物販売と内部処理の推進、既存廃棄物のリサイクル化による埋立減、分別廃棄の維持と発生廃棄物の削減、廃プラスチックのリサイクル処理業者の継続的な探索と処理を進めています。引き続き、資源の循環を促進し、廃棄物削減と環境への負荷軽減に積極的に取り組みます。